

クラス番号	911	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	宇佐美 千鶴
テーマ	地域生活を支援する SW の役割 ―本人が決めるプロセスを支える多職種連携と協働―		

ゼミナール概要

【キーワード】主体性の尊重、地域生活支援、多職種連携、ソーシャルワーク、終末期ケア

【目的・内容・方法等】

疾病や障がいを抱える方々が地域生活を送るなかで生じる様々な葛藤や課題を、ソーシャルワークの視点から捉え、その支援策を具体的に考える力を獲得することを目指します。

具体的には、①支援における主体性の尊重について理解すること、②支援に関わる多職種、多機関の役割と実際を理解すること、③地域生活支援の現状と課題を理解することです。

このゼミでは、疾病や障がいを抱える方々の地域生活を支えるために、多機関・多職種連携・協働のなかでソーシャルワーカーに求められる役割について考えます。

文献学習やディスカッションから習得した知識や培った価値は、実践にどのようにつながっていくのかを事例検討などを行って丁寧に確認したいと思います。

また、多職種連携・協働する力を習得するため、「伝える力」を高めます。地域生活を支えるためには、キャベツ一玉の値段から活用できる様々な制度まで興味や関心をもつことが大切です。好奇心豊かに広く物事を考えられるように、保健医療機関などでフィールドワークを行いたいと考えています。

【授業計画】詳細はゼミ生と相談して決めます。

○上記のテーマに関する文献資料や実践現場で活躍するゲスト講師を招いて、必要となる知識と価値の習得を目指します。方法は、文献などを用いてディスカッションを行います。その際、文献の要約方法や問いのたて方を学びます。

○事例やケース教材（地域）をとおして、ソーシャルワークの視点からディスカッションを行い、課題把握力や解決力を培います。その際、知識や価値は、実践にどのようにつながるのかを確認します。

○地域で暮らす当事者のもとに訪問したり、様々な保健医療機関に赴き、チームケアの体験学習を行います。その際、多機関・多職種の役割と、多職種連携のなかで求められるソーシャルワーカーの役割を確認します。

【参考書籍】「チームの連携力を高めるカンファレンスの進め方」篠田道子 看護協出版会(2015)

*第3章を執筆しています

担当教員からのメッセージ



ゼミの場は、皆さんとともに作り上げるものです。ですから、主体的な参加を求めています。このゼミを通して出会う人々のさまざまな価値観にふれて、ともに成長を育みたいと思います。

わからないことをわからないと聞ける雰囲気づくりを大切にします。はじめは、誰でも自信はないものです。臆することなく、コツコツと努力を積み重ねて力をつけていきましょう。

「厳しさ」と「楽しさ」のメリハリをもって充実したゼミ生活を一緒に過ごしましょう。

*少々証明が暗いですが、写真はゼミ食事会のものです。